

(様式1) 平成 21 年度

1 自己評価及び第三者評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|---------------------|------------|--|
| 事業所番号 | 2874001619 | | |
| 法人名 | 医療法人社団 だいとう循環器クリニック | | |
| 事業所名 | グループホーム花みずき | | |
| 所在地 | 姫路市豊富町豊富915-2 | | |
| 自己評価作成日 | 平成21年12月24日 | 評価結果市町村受理日 | |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

| | |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 | |
|----------|--|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-------------------|--|--|
| 評価機関名 | 社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会 | | |
| 所在地 | 神戸市中央区坂口通2-1-18 | | |
| 訪問調査日 | | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

法人の理事長が医師であり利用者のかかりつけ医になっている。看護師、薬剤師も毎週来訪し健康状態を把握している。かかりつけ医には24時間連絡がとれる体制になっており、利用者はもちろん職員も安心して生活をし、支援できている。在籍の長い職員が多く利用者と共に生活をしているという認識を持ち個性豊かな日々を送れるように支援を行っている。地域交流は近隣の方々に救命救急講習に参加して頂いたり、小学校から運動会の招待を受けたり公民館の文化教室から講師や生徒を招き趣味や体操等、様々な講習を受ける事ができている。

【第三者評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

| |
|--|
| |
|--|

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 該当するものに 印 | 項目 | | 取り組みの成果 該当するものに 印 |
|----|--|---|----|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | |

自己評価および第三者評価結果

〔セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-です。〕

| 自己 | 第三者 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------|-----|---|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 基本理念の第5項目として掲げており、職員一同それを意識し、支援に日々取り組んでいます。 | | |
| 2 | (2) | 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | ホーム駐車場を秋祭りの休憩所として提供したり、年に数回地域の方々をお誘いし、行事に参加して頂いている。又、近隣の方と挨拶をかわしたり野菜を頂いている。 | | |
| 3 | | 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 運営推進会議の議題として認知症サポーターの講習を取り入れた。 | | |
| 4 | (3) | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 推進運営会議を行い、その後内容の報告を受けている。毎回ではないが、民生委員・消防団・婦人会・老人会などに参加して頂いている。 | | |
| 5 | (4) | 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 推進運営会議に参加して頂いている。市へは運営推進会議録を送付している。 | | |
| 6 | (5) | 身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 日常生活において身体拘束しない様スタッフ間で申し送り・話し合いをし、支援をしています。 | | |
| 7 | (6) | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている | 勉強会・日々の申し送り・話し合いの中で学ぶ機会があり、常にスタッフ全員が虐待のないよう注意し、言動には十分気を配り、防止に努めています。 | | |

| 自己 | 者 第三 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|---------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | (7) | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 勉強会で学ぶ機会があり、実際に成年後見制度を活用されておられる方もあり、今後も支援していきたい。 | | |
| 9 | (8) | 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 管理者との話し合いにより、十分に説明を行い、家族からの質問にも理解して頂けるよう返答している。 | | |
| 10 | (9) | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族から意見や要望があった場合は、管理者・スタッフ間で検討して改善に努めている。又、相談・苦情にも対応できる体制をとっている。 | | |
| 11 | (10) | 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 年に2回面接を行っており、意見を述べたり、問題提供を促す機会がある。又、評価について知る事が出来る。 | | |
| 12 | | 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 職員の勤務態度や努力は正しく評価されており、配慮されている。その他の時でも話しやすい関係作りができています。 | | |
| 13 | | 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 月に一度勉強会を行い、時には外部から講師を招いている。外部への研修にも積極的に参加できるよう取り組んでいる。 | | |
| 14 | | 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 他施設より研修を受け入れている。研修を通じ情報交換をしている。 | | |

| 自己 者 第 三 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|---|---|------|-------------------|
| | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | |
| 15 | 初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入所前の面接時に時間を作り、本人の状況・身体面・精神面等困っている事がないか確認している。又、家族の思いを聴くよう心掛けている。 | | |
| 16 | 初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご家族の思い・希望等を見学や面接の際に聴きとり、受け止める努力をしている。 | | |
| 17 | 初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | グループホームの様子を実際に見て頂き、利用者さんと過ごす時間作り・生活の場として可能かを見て頂く。不可能の時は他のサービス利用を進めるようにしている。 | | |
| 18 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 毎日の暮らしの中で人生の先輩としてアドバイスを聞いたり、スタッフから教えて頂けるようお願いしている。又、その方々の得意分野について教えて頂き会話につなげています。 | | |
| 19 | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族の方には、その都度利用者の健康面・精神面などの状況を報告を行い、問題が生じた時には家族の方にも相談・協力して頂いている。 | | |
| 20 | (11) 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ご家族・利用者と深く付き合いのある方などが、来所しやすい雰囲気作りに努めている。又、行事の案内をし、一緒に楽しめるよう配慮している。 | | |
| 21 | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | それぞれが関わり合えるように配慮しており、皆が仲良く生活出来る様スタッフが間に入り、良い人間関係が築けるようにしている。 | | |

| 自己 者 第三 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|--|--|------|-------------------|
| | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | サービス利用終了後でも、訪問や相談等も受けられるようにしており、以後の状況についても報告を受けている。 | | |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 23 | (12) 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 今迄の暮らしや習慣は可能な限り継続出来る様努めており、要望もお聞きするよう心掛けている。困難な場合はその思いを汲み取り、安心できるよう支援している。 | | |
| 24 | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご家族からの情報や本人からも直接お聞きし、把握するようにしている。会話の中でも情報を得ている。 | | |
| 25 | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 一日の流れの中で、言動・行動・身体状況等を観察する。又、記録や連絡ノートを使い、スタッフ間の連携をスムーズにし、皆が把握できるようにしている。 | | |
| 26 | (13) チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人の思いを尊重した上で、その方に合ったケアをスタッフで話し合っている。ご家族の意見もお聞きし、ケアプラン作成を行っている。 | | |
| 27 | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日常生活の中から気持ちをくみ取れるよう心掛け、少しでも変化があれば記録に残し、精神面・体調の変化をスタッフが共有、計画に活かしている。 | | |
| 28 | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 利用者・家族の要望に応じて対応している。 | | |

| 自己 者 第三 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------|---|---|------|-------------------|
| | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | 地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 公民館の文化教室の先生・生徒を招いて、絵手紙や習字などを教えて頂いている。又、消防署・消防団等近隣の方々の社会資源を活用している。 | | |
| 30 | (14) かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 法人がかかりつけ医となっており、医師・看護師が週2～3回訪問して下さり、利用者の状態を把握して頂いている。 | | |
| 31 | 看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 法人であるクリニックより、週1回看護師に来てもらい、相談・指導を受けている。 | | |
| 32 | (15) 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院先のケースワーカー等と情報交換をしている。また、家族にも細かく説明し、不安のないよう対応している。 | | |
| 33 | (16) 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 重度化・終末期に向けて入所時より主治医・家族・職員全員で話し合う機会を設けている。 | | |
| 34 | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 緊急対応マニュアルがあり、理解するようにしている。又、消防署の方に来て頂き、心肺蘇生やAEDの使い方を教わっている。 | | |
| 35 | (17) 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | ほぼ1回程度避難訓練を行っている。又、消防員・地域の方々も参加して頂き、避難訓練や避難路の確認を行っている。 | | |

| 自己 | 者 第 三 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|-------------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (18) | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 利用者が不快な思いをしない様、丁寧な言葉掛けをし対応している。又、スタッフ間で統一した支援ができるよう話し合っている。 | | |
| 37 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | その人のペースに合わせて話をし、寄り添い何気ない会話からその人の思いをくみとり、意思表示が出来るよう支援している。 | | |
| 38 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 日々の生活の中で、利用者の希望を聞いたり、皆で同じ行動をするのではなく、自由に過ごして頂けるようにしている。 | | |
| 39 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 化粧や身だしなみも個人で自由にできるようにしている。毎月美容師の訪問でカットや毛染めができるよう、本人に決めて頂いている。 | | |
| 40 | (19) | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の準備・片付けなど、利用者一人ひとりの能力に応じ職員と一緒にしている。また、日々の会話の中で、利用者一人ひとりの好きな物、食べたい物を聴き出し、献立に取り入れている。 | | |
| 41 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 一日を通じてこまめに水分補充を行い、お茶など好まない方は、他の物で水分補充して頂いている。食事でもその方に合った量、切り方など身体的状態に応じて支援している。 | | |
| 42 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後の口腔ケアを習慣づけて頂き、一人ひとりに応じ、見守り・介助を行っています。 | | |

| 自己 者 第三 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------|---|---|------|-------------------|
| | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (20) 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 利用者それぞれの排泄パターンを把握し、定期的にトイレ誘導も行い、見守り・介助が必要な時は対応している。また、できるだけトイレでの排泄を支援している。 | | |
| 44 | 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 毎日の園外への散歩を行っています。又、水分補給をこまめにしたり、食事でも野菜類を増やし、予防しています。 | | |
| 45 | (21) 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 一日に入浴できる人数が限られているので、希望に応じ入浴して頂いています。無理な時は納得して頂き、次の日に入浴して頂けるよう約束しています。 | | |
| 46 | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 散歩やレクなど一日の生活リズムをつけ安眠できるよう支援している。また、夜間でも安心して休んで頂けるよう、温かい飲み物を提供したり、ゆっくり話を聴いたりし、リラックスして頂くよう対応している。 | | |
| 47 | 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬説明書を作り、目的・副作用・用法を理解出来るようにしている。又、利用者一人ひとりの症状の変化の確認。服薬忘れがないように服薬表を作り1回ずつ確認している。 | | |
| 48 | 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 利用者一人ひとりの趣味・能力に応じて、作業・レクに参加して頂いたり、気分転換に毎日散歩に行き外気を吸ったり、四季を楽しんで頂いている。 | | |
| 49 | (22) 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 喫茶店での外食・季節毎の外出を作ったり、裏の畑に行き野菜の収穫を楽しんで頂いている。又、ユニット全体で年間行事を通して季節毎に外出したり、利用者の希望を家族に伝え実現できるよう支援している。 | | |

| 自己 者 第三 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------|--|--|------|-------------------|
| | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 自己管理出来る方には、小遣い程度の金額を所持して頂き、管理出来ない方は職員が代行管理している。出納状況について家族の来所持に領収書を渡し、報告している。 | | |
| 51 | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 利用者の希望に応じて、手紙や電話の利用が出来るよう支援している。 | | |
| 52 | (23) 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共同空間には、利用者の作品を展示したり、季節の花を飾ったりして、明るく居心地良く過せるようにしている。 | | |
| 53 | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 食卓テーブルの他に一人掛けソファを設置し、気の合う方同士でテレビを見られたり、談笑されています。また、廊下にもベンチを2ヵ所設置し、思い思いに過ぎて頂いています。 | | |
| 54 | (24) 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者の使い慣れた家具や装飾品を大切にしている。写真や本など自由に持ち込んで頂いています。 | | |
| 55 | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 廊下・浴室・トイレ・階段等の要所に手すりを設置し、入浴時には、浴槽底・浴槽前床にすべり止めマットを使用したり、歩行困難の時には、シャワーキャリーも使用したり、トイレ・各居室にはナースコールも設置している。 | | |